夢窓幼稚園通信第8号

2024年 5月 30日

歴史を学ぶと それぞれの時代から風が流れてきます。その風は その時代を生きた人と出会わせてくれます。
時代を超えた友人ができるのは、楽しみです。

所変われば…で、それぞれの土地の風景や人が過ごすことによって生まれてくる風物は独特です。
風が運んでくれる その土地ならではのものは、何といっても そこに過ごす人々が醸し出す"人情"なのかもしれません。

百人いれば百の、千人いれば千の…… 生き方があるように、一人ひとりの人生は かけがえのないひとつだけのものですから、とても理解できそうにはありません。しかし『〜とは同じ匂いがする』とか素敵な行為を"爽やかな香り"に例えたり…と風によって運ばれてくるもので その人〜を少し感じることはできるような気がします。

「風」…要覧「一年間の流れ」の5月の「子どもと季節」は"風"、「月のテーマ」は子どもは"だいじょうぶ"、大人は"うごきだす"です。
風のささやきに誘われて動き出したら、子どもたちが唱えるお祈りのしめくくりの言葉「だから こわいものは 何も ありません。わたしの まわりには 愛だけが あるのです」の通り 世界は共にあり 守られていると子どもたちも大人もが思えたらいいですね。
風 … うごきだす … だいじょうぶ

そんな5月を過ごせるように 5月の風を受けとめたいものですね。

園長 升光泰雄